

平成29年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日	平成30年4月6日
研究・研修課題名	院内がん登録実務中級認定者研修
研究・研修組織名（所属）	院内がん登録委員会
研究・研修責任者名（所属）	鈴宮 淳司（先端がん治療センター）
共同研究・研修実施者名（所属）	中林 愛恵（医療サービス課）

目的及び方法、成果の内容

① 目 的

院内がん登録の実施にかかる厚生労働大臣指針で、院内がん登録実務担当者は、がん登録に係る実務についての技術を向上させるため、国立がん研究センター等が提供する研修を継続的に受講することが望ましいとされている。本研修会は、国立がん研究センターが主催する院内がん登録実務中級認定者を対象とした研修会で、継続的な知識・技術の向上を目的として開催されている。

今年度の研修は「標準登録様式2016年版について」と「UICCTNM第8版に関する内容」をメインテーマにしている。2012年から現在まで、UICCTNM第7版に基づいて登録業務を行っているが、UICCTNM第8版が国際対がん連合から出版され、わが国の院内がん登録でも今後適用を予定されているため、その情報を得ることが研修会に参加する目的である。

②方 法

下記の研修会を受講した。

【研修名】

院内がん登録実務中級認定者研修

【主催】

国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策情報センター

【対象・募集人数】

院内がん登録実務中級認定者

【日時】

平成29年8月3日（木）10：00～16：45

③成 果

本研修会では「標準登録様式2016年版について」と「UICCTNM第8版に関する内容」について講義を受けることができた。

わが国の院内がん登録で、UICC TNM分類8版が適用されるのは2018年症例からである。

大きな変更がなされた部位は、頸部リンパ節、上咽頭、甲状腺、食道、胃、肛門管、肝、肺、前立腺、卵巣であり、小さな変更がなされた部位は、頭頸部癌、肝・胆道系、小腸、結腸・直腸、神経内分泌腫瘍、胸膜、陰茎、腎、尿管、膀胱、尿道、眼、悪性リンパ腫とのことである。

1、本院では退院時要約システムにがん登録用の選択肢を設けており、これまでのUICC TNM分類第7

版から第8版に変更するためのシステム改修を行った。まず、研修内容を基に登録室で変更原案を作成し、各診療科に確認依頼を行い、共同でマスタ作成を行った。本研修会の受講により、スムーズにシステム改修を行うことができた。

また、本院は都道府県がん診療拠点病院の指定を受けており、拠点病院整備指針の指定要件で、標準登録様式に基づく院内がん登録を実施し、集計結果等を国立がん研究センター情報提供することと明記されている。本研修受講とシステム改修のおかげで、これからも継続して精度が高い院内がん登録の実施と国立がん研究センターへのデータ提出を行うことができる。

2、本院は県内の院内がん登録実施病院を含むがん登録実務者を対象に実務担当者研究会や島根県がん登録研修会を行っている。UICCTNM 第8版が適用されるようになると、県内の院内がん登録実施病院ではUICCTNM 第8版の研修を受けたいというニーズが高まると予想されるため、来年度の島根県がん登録研修会でUICCTNM 第8版を取り上げることを検討した。

本格的に2018年症例の登録がはじまる2018年5月に島根県がん登録研修会を開催し、主要5部位(胃、大腸、肝、肺、乳)と隣臓の病期分類の講義と演習を予定することとした。とくに肺と肝臓は大きく変更されているため、重点的に説明を行うこととした。

がん登録に関する知識・情報は継続的にブラッシュアップが必要なため、今後も国立がん研究センターが主催する研修を受講して、本院および島根県のがん登録の精度向上に努めたい。